

飲酒検問・飲酒運転取締用 アルコール感知器 ALC-SCREENER



バックライト液晶で
夜でも見やすい

使いやすい
カンタン操作

燃料電池センサーの
確かな精度



アルコール測定器は一般的に、定量数値化する証拠用（記録式）の測定器と、簡易的に、酒気帯び有無を一次的に簡易的に確認する感知器（スクリーナー）とに分けられます。証拠用は行政処分や禁固刑の確定のために用いられ、簡易的な感知器（スクリーナー）は最終判定の前段で使用する場合があります。証拠用のアルコール測定は、終末呼気を対象とします。感知器（スクリーナー）は一般的に「口腔内の残存空気」を判定するものです。感知器（スクリーナー）とは違い定量の呼気量・呼気圧から、終末呼気を分析します。従来のA社B社の感知器（スクリーナー）に比べて、当社のALC-SCREENERは、海外の証拠用検知器で多く使われている電気化学式のセンサーを採用しているため、安定した精度を維持しやすい感知器（スクリーナー）となっています。

測定範囲と
正確さが
違う

【従来型との測定範囲の比較】

